

「しあわせ実感 緑の健康文化都市」をめざして

1. はじめに

秋田市は、秋田県のほぼ中央部に位置し、東には霊峰太平山を擁する出羽山地、西には夕日の美しい日本海が広がる緑豊かな、人口約33万3千人を擁し、東北では仙台市に次ぐ県庁所在都市であり、北東北の拠点中核都市となっている。

本市を取り巻く状況は、平成17年1月に河辺町、雄和町との合併により、市域が約2倍になったことや市民協働、都市内地域分権を新たな政策課題として取り上げたことなど、大きく変化したため、市政の基本となる「総合計画」を見直す必要が生じ、今年3月に第11次となる総合計画を策定した。

2. 第11次総合計画の概要

市政の究極の目標は、市民が安全安心して心豊かに暮らせるまちの実現であることは論を待たない。この実現のためには、安定した生活ができる所得を得る職業があること、家族、地域の親密なコミュニケーション、助け合いの心が必要不可欠である。この観点から本計画で掲げる大きな視点は景気回復や技術革新とタイミングを一にした産業経済施策の推進と家族や地域の絆、いわば心の絆の再生とした。

日本の経済を支えてきた製造業は、バブル経済崩壊後の設備投資の抑制や生産拠点の海外移転などから空洞化が進み、景気回復基調にある今日も大都市と地方における経済格差の大きな要因となっている。

このような中で、世界に目を転じれば、プロセスイノベーションからプロダクトイノベーションに移行するなど国際競争が激しさを増し、この潮流が超先端技術分野における生産拠点の国内回帰をもたらしており、今こそ、優れた人材と技術に支えられた高度産業を基盤に地域経済を強化する好機と捉え、超先端技術分野をはじめとする企業の誘致を前面に打ち出した。

また、豊かで安らぎに満ちた生涯をおくるには、心のよりどころである家族や地域、人の絆づくりが大切という考えから、行政が家族や心の問題の中にまで触れる難しさはあるが、避けてとおれない問題であり、精神面からの「しあわせ実感」も市政の主眼においた。これは、福祉行政であったり、地域づくりの行政であったり、教育行政であったり、さまざまな分野に関連してくるが、そこを家族の絆・地域の絆をキーワードに市政運営全体を有機的に結びつけた計画とした。

3. 安全安心な社会に不可欠な社会資本整備

安全安心に暮らすうえで最も根幹をなす道路・河川・下水道・公園などのインフラ整備については、長年にわたり重点的に進めてきた結果、全国レベルとなっている。しかし、経済活動や日常生活に最もかかわりがある幹線道路である都市計画道路の整備率は約70%となっているが、全線完成している路線は89路線のうち約4割の35路線にとどまり、ネットワーク化が進んでおらず幹線道路

秋田市長 さ たけ のり ひさ
佐竹 敬久



の機能を十分に発現できていない状況となっている。この原因は財政難もあるが、長期未着手となっている土地区画整理事業があることも原因の一つである。このため、いわゆる長期未着手の土地区画整理事業について、県に対して見直しのガイドラインの策定を要望しているところである。

また現在、道路特定財源の一部一般財源化が進んでいるが、道路整備の遅れている地方にとっては大きな打撃となることから、関係機関と連携し今後とも道路整備のための財源と予算の確保を訴えていきたい。

4. 防災・災害対策

本市は中山間地を除き降雪量が少なく、また、台風被害、土砂災害・水害も西日本と比較すると少ないなど、気候風土に恵まれた暮らしやすい街である。それが故に、豪雪や大災害時には、不慣れなことから初期対応が遅れたり、関係機関との連携が不十分なところがある。昭和48年以降の豪雪となった平成17年度では、本市の市街地を形成する道路は狭隘道路が多く除排雪作業の効率が悪いという特異性も加わり、除雪が追いつかず路線バスの運休などにより市民生活が混乱し、経済活動にも深刻な影響をおよぼした。

この教訓から、平成18年度には、除排雪計画の抜本的な見直しを行い、さらに、防災・災害対策をはじめ子供の安全確保など市民の安全安心に係わる事柄について部局横断的に調整する安全安心

対策本部を新設するなど、防災・災害対策の充実強化に鋭意取り組んでいる。

5. 全国市長会会長に就任

今年6月、はからずも全国市長会会長に選任された。

東京など大都市圏と地方との経済格差、国・地方とも財政難、少子高齢社会など多くの難題に直面している大変な時期での会長職であり、重責を感じている。

在任の2年間、全国805市の市長と心を合わせ、住民サービスの向上に結びつく地方分権や財政基盤の強化など、展望ある地域社会を築くために国に対し建設的な提言をし、また、地域の利害を超えた自治制度の構築に取り組んでいきたいと考えている。

6. おわりに

9月29日から、第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」が開催される。秋田県開催は昭和36年以来46年ぶりとなる。本市では陸上競技、サッカーなど11競技が行われることとなっている。全国から集う選手の健闘とともに来県される全ての人に《秋田に来てよかった》と思われるよう、市民・職員一体となってまごころでお迎えします。